

# 夕焼け姫 植え付け実演

東海市が産地化・ブランド化を目指す県独自のかんきつ新品種「夕焼け姫」の苗木植え付け準備講習会が十七日、同市加木屋町の夕焼け姫栽培試験ほ場であった。生産者ら三十五人が参加し、県知多農林水産事務所農業改良普及課の加藤周平主任から講義を受けた。

(福本英司)

市果樹振興会マルチ栽培夕焼け姫部会が主催した。三月に苗木が届くのを前に、部会員の生産者に植え付け方を伝えようと開いた。

加藤主任は植え付けのポイントとして、水はけを良くするために、高いうねを作ることを紹介し、「高うねで、根が伸長する領域が制限されるので、木がコンパクトになる」などと説明した。また、水を通さず、光の反射作用もある白いシート「マルチ」を敷いて七月ごろから収穫期まで雨水を避けることも助言した。

参加した同市富木島町の小笠原暁さん(三七)は「苗木を植えるところを実演してもらえ、良かった。実際に苗木が届いたら、講習会の内容を基に自分のほ場に植えたい」と話した。

## かんきつ新品種 東海で講習会



加藤主任(手前)の説明を受ける生産者ら＝東海市加木屋町で